

## 事例5 学校行事「(4) 旅行・集団宿泊的行事」の事例

- 学年 第3学年
- 主要内容 学校生活や学習活動の成果を生かす修学旅行
- 事例のポイント
  - ①修学旅行のねらいや活動目標を念頭に置き、学校生活や学習活動の成果を生かしながら生徒が積極的に活動に取り組むことができるようにする。
  - ②学校行事の学習過程において、効果的にICT端末を活用する。
  - ③学校行事終了後、生徒が本学校行事を適切に振り返ることができるように取組を工夫する。

### 1 学校行事名 「修学旅行」

### 2 本学校行事設定の理由


本校では、1年生で日帰りの「校外学習」、2年生で「林間学校」、3年生で「修学旅行」の旅行・集団宿泊的行事を行っている。しかし、本事例の学年は1、2年生時に予定していたこれらの行事が実施できず、修学旅行が中学校生活で初めての泊を伴う学習となっている。


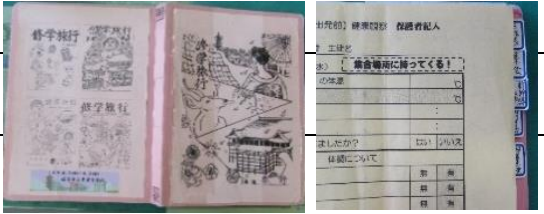
そこで本学校行事においては、事前の計画から、本番、事後のまとめまでを丁寧に行うことを通して「平素と異なる生活環境の中で、見聞を広め、歴史や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること」をねらいとしている。実行委員会が効果的に活動し、リーダーシップを発揮する場を設定しながら、生徒一人一人にとって思い出に残る意義の深い学校行事にすることを目指していく。

### 3 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解している。校外における集団生活の在り方、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けている。	旅行・集団宿泊的行事において学校生活や学習活動の成果を活用できるように考えて実践している。	日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化、社会に親しみ、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとしている。

### 4 事前の活動 ※学年集会【学年】、学級活動【学級活動】、実行委員会【実委】、学級での活動【学級】

期 日	生徒の活動	・指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿【観点】(評価方法)
～4月8日 (金)	<b>【学級】</b> 京都奈良神社仏閣調べ 各自、割り当てられた神社仏閣について、タブレットや資料本を使って見所や由来、所在地などを調べ、レポート用紙にまとめる。 	・完成したレポートは、学級の廊下に掲示する。 ◎作成を通して、より京都奈良への興味・関心をもとうとしている。 <b>【態】</b> (レポート)
4月12日 (火)	<b>【学年】</b> 学年集会 (修学旅行オリエンテーション) <b>【学級】</b> キャリア・パスポートを使って、修学旅行の個人活動目標を考える。	事例のポイント② ICT端末を活用し、春休みの課題として寺社仏閣について調べ学習を行う。  事例のポイント② ICT端末を活用し、下見で撮影した写真などを提示し、現地の様子や当日のたまかな流れを確認する。 ・修学旅行に意欲をもって取り組めるように助言する。

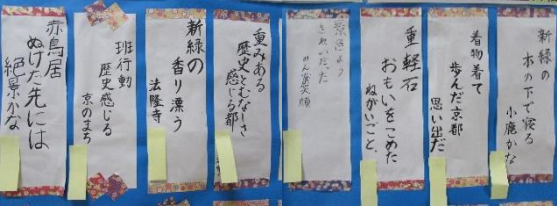
<p>4月13日 (水)</p>	<p><b>【実委】</b> 組織作り、各部の内容検討</p> <p>総務生活部…生活のきまり等検討、実行委員会運営等 学習しおり部…しおりの企画検討・依頼等 集会レク部…集会の運営、レクの運営等 保健入浴部…保健入浴に関する注意事項の検討等 食事美化部…美化点検、食事のきまり等検討等</p>	<p>・今後の活動が円滑に進むように組織をつくり、各部の取組内容等をしっかり確認するように指導する。</p> <p>編 P186 指導計画作成の留意事項(2)</p> <p>◎実行委員として自覚をもって行動しようとしている。<b>【態】</b>(発言・観察)</p>
<p>4月14日 (木)</p>	<p><b>【学級】</b> 行動班編成、班内の係分担、班別行動計画づくり(昼食、体験学習等のアポイントメント)</p>	<p>事例のポイント① 各部の内容検討や協議事項の報告は適宜実行委員が声を掛け合って進める。また、アポイントメントを生徒が実際に取ることで、これまで学習してきたソーシャルスキルの成果を生かせるようにする。</p>
<p>4月18日 (月)</p>	<p><b>【実委】</b> 各部からの協議事項報告</p>	<p>・提案理由を補足して、意見の出し合いを活発にさせる。</p>
<p>4月19日 (火)</p>	<p><b>【学級】</b> 修学旅行の活動目標について学級で案を出し合う。</p> <p>・やっぱり、何といっても楽しみたい。・友達との思い出をつくりたい。 ・文化や歴史もたくさん学んできたい。・きまりを守って楽しみたい。 ・みんなで笑顔で過ごしたい。</p> <p><b>【学級】</b> 夕食アンケート、班別行動計画づくり</p>	<p>・クラスで出た意見をもとに提案理由を補足して、学年の連帯感が高められるような話合いになるように助言する。 ・活動目標を達成するためにどんなことができるか、クラスで話し合うことを伝える。 ・学級での話合いに向けて、最終の原案調整を行う。</p>
<p>4月20日 (水)</p>	<p><b>【実委】</b> 活動目標の検討「修学旅行を成功させるための活動目標を考えよう」 活動目標の決定「れっつごー!笑顔で過ごす 歴史の旅へ～in京都・奈良～」</p> <p>・活動目標が達成できるように、前向きに取り組みたい。 ・部の特色を生かした取組を実行できたらよい。(健康面、時間、集団行動等) ・“笑顔で過ごす”ために、できることを全員で考えて全員で実行したい。</p>	<p>・積極的に話合いに参加し、クラスで取り組む内容を考えようとしている。 <b>【態】</b>(観察)</p>
<p>4月26日 (火)</p>	<p><b>【学級活動】</b> 修学旅行活動目標を達成するため「2Week Challenge!!」を決めよう。</p> <p>編 P186 指導計画作成の留意事項(6)</p> <p><b>【実委】</b> 学級討議の準備</p>	
<p>4月28日 (木)</p>	<p><b>【学級】</b> 見学等マナーや旅行記についての説明と確認、学級討議 <b>【実委】</b> 修学旅行説明会の練習</p>	<p>事例のポイント① しおりの形式を工夫することで、自分で予定等を確認し自主的に行動するなど、集団生活で培った成果を生かせるようにする。</p>
<p>5月2日 (月)</p>	<p><b>【学級】</b> 班別行動計画完成 <b>【実委】</b> しおり原稿完成、説明会練習</p>	
<p>5月6日 (金)</p>	<p><b>【学年】</b> 修学旅行説明会</p>	
<p>5月9日 (月)</p>	<p><b>【学級】</b> しおり綴じ込み</p>	
<p>5月17日 (火)</p>	<p><b>【学級】</b> 新幹線、バス座席決め</p>	
<p>5月19日 (木)</p>	<p><b>【学年】</b> しおり読み合わせ、写真隊形等確認</p>	<p>◎実際の場面を想像しながら、必要な行動の仕方を身に付けている。 <b>【知・技】</b>(観察)</p>
<p>5月26日 (木)</p>	<p><b>【学年】</b> 集合隊形、移動隊形確認、係別会議</p>	
<p>5月31日 (火)</p>	<p>朝：荷物集荷 <b>【学年】</b> 修学旅行直前指導</p>	<p>事例のポイント① 「修学旅行成功のための2Week Challenge!!」を実施することで、本番に向けて、これまでの学校生活や学習活動の成果を生かせるようにする。</p>

## 5 当日の活動

期 日	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿【観点】(評価方法)
6月1日 (水)	<p>&lt;朝：出発式&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 はじめの言葉</li> <li>2 副実行委員長の言葉</li> <li>3 添乗員さんの紹介</li> <li>4 校長先生の言葉</li> <li>5 おわりの言葉</li> </ol> <p>&lt;昼：奈良（東大寺、法隆寺）見学&gt;</p> <p>&lt;夜：実行委員会&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 はじめの言葉</li> <li>2 各部で振り返り           <ul style="list-style-type: none"> <li>・良かった点と反省点</li> <li>・明日の課題 ・伝達事項</li> </ul> </li> <li>3 各部からの報告</li> <li>4 明日の日程確認</li> <li>5 先生の話</li> <li>6 おわりの言葉</li> </ol> <p>&lt;夜：部屋会議&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 しおりへの日記記入、発表</li> <li>2 室長からの伝達事項</li> <li>3 明日の日程確認</li> </ol>	<p>・指導上の留意点</p> <p>◎目指す生徒の姿【観点】(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員、班の係等、それぞれの役割で主体的に運営できるようにする。</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで決めた活動目標とこれまで取り組んできた「2Week Challenge!!」の成果を出せるようにする。</li> </ul> <p>◎きまりを守り、自分の役割に責任をもって、協力して行動している。</p> <p>【思・判・表】(観察、日記)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>△荷物の整理ができていない。 ○しおりをよく見て行動できていた。</p> <p>△食事中に私語が多かった。 ○時間通りに行動できていた。</p> <p>△自分の部屋以外に入らない。 ○消毒等、意識してできていた。</p> </div> 
6月2日 (木)	<p>&lt;昼：京都市内班別行動&gt;</p> <p>&lt;夜：学年レクリエーション(百人一首大会)&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>宿泊施設の大広間を使って、集会レク部を中心に運営を行う。事前にクラスでチーム分けをしておき他クラスと対戦し、勝敗の数で順位を決める。</p> </div> <p>&lt;夜：実行委員会（進行は1日目と同じ）&gt;</p> <p>&lt;夜：部屋会議（進行は1日目と同じ）&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班別行動計画表をもとに、安全面に十分配慮して行動できるようにする。</li> <li>・班長を中心に、各自が責任をもって役割を全うできるようにする。</li> </ul> <p>◎班で協力して安全に注意し、きまりを守りながら行動している。</p> <p>【思・判・表】(観察・日記)</p>
6月3日 (金)	<p>&lt;朝：座禅体験&gt;</p> <p>&lt;昼：伏見稻荷大社見学&gt;</p> <p>&lt;夕：解散式&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 はじめの言葉</li> <li>2 実行委員長の言葉</li> <li>3 添乗員さんの話</li> <li>4 校長先生の言葉</li> <li>5 おわりの言葉</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年全員での体験、見学になるので、再度行動のきまりを確かめ、安全に十分配慮して行動できるようにする。</li> </ul> <p>◎班（学級、学年）で協力して安全に注意しきまりを守りながら行動している。</p> <p>【思・判・表】(観察)</p> 

## 6 事後の活動 ※学年集会【学年】、実行委員会【実委】、学級での活動【学級】、国語の授業【国語】

期 日	生徒の活動	・指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿【観点】(評価方法)
6月7日 (火)	【学級】キャリア・パスポートを使って、修学旅行の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行での活動を振り返る中で、自分の成長を確認できるようにする。</li> </ul>
6月9日 (木)	<p>【学級】旅行記作成（～7月7日）</p> <p>【実委】まとめ集会の準備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成した旅行記は学年廊下に展示し、保護者等が見る機会をつくる。</li> </ul> <p>◎作成の要領を踏まえ、デザインや構成を工夫した作品に仕上げている。</p> <p>【思・判・表】(旅行記)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事例のポイント③</p> <p>キャリア・パスポートを使って目標を立てることで、事前の準備から意識を高め、旅行後の振り返りに生かせるようにする。</p> </div>		

6月21日 (火)	<b>【学年】修学旅行のまとめ集会</b> 1 はじめの言葉 2 フォトコンテストの結果発表 3 各部の振り返り (成果と課題) 4 実行委員長の話 5 先生の話 6 諸連絡 7 おわりの言葉	・修学旅行で学んだことを学校生活へ生かそうとする態度を育てる。 
6月22日 (水)	<b>【国語】旅行中に作成した「修学旅行で一句」を清書する。</b>	・国語の授業の中で、筆ペンを使って丁寧に清書し、廊下に掲示する。

## 7 資料等

### ① 「修学旅行成功のための2Week Challenge!!」

**3年( )組の、修学旅行成功のための2Week Challenge!!**

- 趣旨 学校生活を振り返り、「①時間を守ること」「②全体を優先する意識をもつこと」「③コロナ対策への意識を高めること」の三つの項目について強化を図り、修学旅行がスムーズかつ安全に運営されるようにする。
- 期間 5月16日(月)～31日(火) 朝の会から帰りの会まで
- 方法
  - 修学旅行組織の5つの部で、修学旅行までの間に生活の中で改善できる内容を検討し、部員全員で学級・学年に働きかける。
  - 各クラス実行委員は、毎日部の活動状況をチェックし、帰りの会后、担当の先生へ報告する。そこで、翌日の朝の会でクラスに呼びかける内容を検討する。
  - 翌日の朝の会に、各クラス実行委員は前日のよくできた点と改善点を呼びかける。
  - 各クラスにチェック状況の掲示を行う。
  - 23日、30日の朝学習の時間、各部で前週の反省と今週の取組を確認する。ただし、部から出される提案については、各クラスの実行委員に事前に知らせておくこと。
- 担当と内容
 

総務生活	学習しおり	保健入浴	集会レク	食事美化
5分前行動&1分前着席&チャイム始動	授業評価オールAチャレンジ	手洗い&消毒の徹底	百人一首の暗記チャレンジ、集会時の無言整列徹底	静かに配膳、黙食の徹底

### ② キャリア・パスポートを使った目標と振り返り用紙

学校行事等(修学旅行について) 年 期 番 氏 名 ( )

記入日 年 月 日 ( )

(事前) 修学旅行での目標(自分の役割など) **理想**

そう思った理由 **信念**

目標を達成するために準備すること **計画**

(事後) 目標を達成するために頑張ったこと **実行**

心に残っていること **成果**

自分が成長したと思うこと **幸福**

今回の体験・経験を活かして、今後生かしていきたいこと **夢**

先生からのメッセージ

メッセージを読んで考えたこと

前向き目標(理想)に向かって...

### ③ 修学旅行記



事例のポイント③  
 修学旅行前にあらかじめ旅行記作成の手順等を説明しておき、見通しをもたせておく。また、共通記入項目においては、書き方を確認しながら一斉指導で書き進められるようにする。

### 修学旅行記作成の要領

- ・旅行先でもらった拝観券やパンフレットなどを、各班の担当者が回収しておく。
- ・書き進めるのが苦手な生徒もいるので、全ての構成を自由にしておくのではなく、「行程表」「京都・奈良マップ」「振り返り」は別紙に記入し、貼付することを共通とする。